

# 「安マネ評価」実施

## NASVA 神奈川初アサヒタクに

アサヒタクシー(藤井嘉

一郎社長、横浜市・56台)

は独立行政法人自動車対策機構(NASVA)の運輸安全マネジメント評価を10月に受け、評価報告書で「安全管理体制の維持・向上に向けた経営トップの主体的関与」などについて「取り組みが進んでいる」

と評価された。

国交省認定のNASVAの運輸安全マネジメント評価を受けた関東地方(東京主管支局担当)のタク会社は10月末現在4社(うち3社は東京)で神奈川県初。

藤井社長は「グリーン経営認証取得で社内体制(PDCAによるマネジメント)のベースができ、07年

半ばから本格的に取り組み、運輸安全グリーン会議などを通じ浸透させてきた」とし、「客観的な評価が知りたかった」と話す。

10月5、6日に横浜市中区の本社(山手営業所)にNASVAの評価に臨み、初日は石橋廣東京主管支所

長も出席。ガイドラインの

項目に沿った主な評価ポイントについてチェックを受け、20日付けで評価結果の報告書を受けた。取り組みが進んでいる事項として、経営トップの主体的関与に加え、「風通しの良い社内コミュニケーション環境整備による様々な情報のやり取りができる風土の構築」も評価された。

一方、助言事項(4点)を踏まえ今後も取り組みを進めていく方針だ。同社は「違反が事故につながる」

ことを強調し関係法令順守を徹底しているが、昨年11月導入した防犯カメラ一体型ドライブレコーダーを活

用し、本人だけでなく経営トップも含めた複数で画像を見ながら事故原因を究明し、改善書を提出させる取り組みにも力を入れている。

10月27、28日には事故多発乗務員ら50人対象に本年度上期に実施した事故防止研修会のフォローアップ研修を開催。ヒヤリ・ハット情報を元に「どうすれば事故につながったか」をミニティンクする「逆転の発想」のプログラムも組んだ。

藤井社長は「労務管理と安全確保がおろそかではサービス向上にも取り組みにくい。引き続き主体的関与の継続、職務の遂行に努め、継続的改善に取り組んでいきたい」としている。

# 「安全マネジメント評価」実施

## NASVA 神奈川初アサヒタク

用し、本人だけでなく経営トップも含めた複数で画像を見ながら事故原因を究明し、改善書を提出させる取り組みにも力を入れてい

る。

10月27、28日には事故多発乗務員の50人対象に本年度上期に実施した事故防止研修会のフォローアップ研修を開催。ヒヤリ・ハット情報を元に「どうすれば事故に近づかなかったか」をミニ

に加え、「風通しの良い社内コミュニケーション環境整備のプログラムも組んだ。

藤井社長は「労務管理と安全確保がおそろいかではサ

ービス向上にも取り組みを進め、引き続き主体的関与の

継続、職務の遂行に努め、継続的改善に取り組んでい

きたい」としている。

アサヒタクシー(藤井嘉一郎社長、横浜市・56台)

は独立行政法人自動車対策

機構(NASVA)の運輸

安全マネジメント評価を10

月に受け、評価報告書で

「安全管理体制の維持・向

上に向けた経営トップの主

体的関与」などについて

「取り組みが進んでいる」

と評価された。

国交省認定のNASVA

項目に沿った主な評価ボイ

ントについてチェックを受

け、20日付けで評価結果の

報告書を受けた。取り組み

が進んでいる事項として、

経営トップの主体的関与に

加え、「風通しの良い社内

コミュニケーション環境整

備による様々な情報のやり

取りができる風土の構築」

も評価された。

半ばから本格的に取り組

み、運輸安全グリーン会議

などを通じ浸透させてき

た」とし、「客観的な評価

が知りたかった」と話す。

10月5、6日に横浜市中

区の本社(山手営業所)に

NASVAの評価に臨み、

初日は石橋廣東京主管支所

型トライアングラーを活